

## 江古田三丁目重度障害者グループホーム等整備事業に係る情報交換会議事録

日時 令和5年6月13日(火) 11時00分から12時05分まで  
会場 中野区役所9階第12会議室  
実施方法 対面開催  
出席者 ①関係団体 10名  
②中野区職員 5名(障害福祉サービス担当課長、障害者施設係職員 4名)

### 1 内容

#### (1) 課長挨拶及び今後のスケジュールについて

障害福祉サービス担当課長:

今年度基本計画をたてるため、区や事業者が考えるスキームだけでなく当事者であるみなさんにご意見、ご要望をお聞きしたい。反映できものとはできないものがあるが、よりよい建物をつくっていきたいと考えている。

また、運営事業者について、当事者方へのお知らせの場は7月中旬頃を予定している。

#### (2) 要望・意見交換

団体:

平面図が欲しかった。行動障害がある場合、動きが活発のため、車椅子の人と同じ玄関でなく、玄関は分けた方がよいかと思う。それぞれの用途によって複数玄関があったほうがよいと思う。知的障害と身体障害でトイレや居室の広さが倍くらいあっていろんなことを想定して考えられていると感じた。

団体:

介護用ベッドやリフトなど要望するものがないくらいご配慮いただいたが、いくつか確認したいことがある。共同生活援助の居室にある天井走行リフト及びモニタリング用カメラなどは短期入所の居室にはないのはどうしてなのか。医ケア用に居室内に小さくてもいいので、流し場を設けてもらいたい、浴室に関して脱衣はどこでやるのか。機械入浴について、いわゆる特殊浴槽なのかどうか、リフトが必要なのかどうか。トイレにユニバーサルベッドの設置をお願いしたい。地域生活支援拠点機能は地域交流スペースなのか、そのトイレにもユニバーサルベッドの設置をお願いしたい。介護ベッドは高さ調節できるものにしてほしい。駐車場は送迎用マイクロバスだけの駐車スペースだけでなく、家族の送迎や来館時に駐車できるようにしてほしい。

団体:

表だけだとイメージできない。広さなどは基準があると思うが、介護する人の動線がみえない、イメージがしにくい。個人的には人工呼吸器を使っているの、医ケアの電源について気になる。共同生活援助と短期入所両方の電源確保ができていないか。非常時の電源についても電源確保ができていないか、例えばソーラーパネルをつけて、確保できるとかあるとうれしい。

江古田の森のショートステイができるようになったが、コロナの感染拡大もあって使用する部屋が通所で利用する部屋になっており、普通のコンセントしかないため、医ケアの者の受け入れができていない。そういうことも念頭においてほしい。

また世話人室とあるが、世話人室には看護師がいるのか、看護師は医療的ケアの人をどのように看るのか、モニターの音を頼りにいくのか時間でいくのかその辺が気になる。常に入所者が視界に入るような部屋のつながりを念頭にいれてほしい。

団体:

最初は 24 時間看護師常駐となっていたが、どうなったか。

区:

平成 28 年度からの計画で、公募して 4 回不調になっている。どの事業者も 24 時間常駐の体制をとれる事業者はみつからず、看護師不足で人員確保が難しいようだ。そのため途中で条件を緩和したが、今後 1 日何時間いるか週に何回来るか、世話人室に看護師がいるのかなど、状況によって事業者との細かい取り決めが必要になり、事業者に対して配置してほしいと要望をしていくという話になると思う。

団体:

まず資料の字が小さい。図面がほしい

グループホームは、土日は自宅に帰されるが親は 80 代～90 代が多くグループホームを終の住処としてほしいという要望が出されている。行政上どうなるかわからないが、将来的なことも考えて欲しい。うちの子は知的障害でも年齢とともに 2 次障害がでてきて車椅子を使用しているので、食堂で座っても後ろを車椅子が通れるスペースがほしい。浴槽にしても身体障害者用にはいろいろ配慮されているが、知的障害の場合、普通に入れるだろうという思いがあるが、車椅子を利用するようになった場合、普通のお風呂は難しいので身体障害者の浴槽を使えるのか。ドアは開き戸ではなく引き戸にしてほしい。介護用ベッドは介護する人のためにも高さの調節できるようにお願いしたい。廊下も広さがほしい。

区:

まず図面がなくて申し訳ない。基本計画が今年度できて、来年度以降基本設計で間取りなどが決まり、実施設計でトイレ、窓、ドア、便座、引き戸などが決まってくる。その時にもご意見いただきたい。玄関の数については障害の特性に合わせたものにできるのか、要望はあげていく。流し場は必要性が高いため、ご意見としてあげていく。昨年度、区外の医ケア実施のグループホームと重症身体障害者用グループホームを見学したが、扉は引き戸で、機械浴も立派なものが設置されていた。事業者も区もみなさんの意見に寄り添った形で提案していきたい。ユニバーサルトイレについても要望をあげていく。コンセントも重要と考えている。区としても検討していきたい。グループホームの終の住処については、どこまでできるか事業者と検討していく。食堂での車椅子の動線や、ユニットの形態の問題もあると思う。

団体:

地域生活支援拠点機能ってというのは 5 つの生活相談拠点の役割があるので相談に来た方が使用するものになるのか。

区:

相談の部分のほか、調整役の役割もある。基本的な考え方はそのとおり。

団体:

6 月末で議会の賛成が得られたらというが、いつなのか。傍聴にいきたい。

区:

まだはっきりした日程は決まっていない。直前になるが、伝えることは可能である。

事業者にはできることは工夫してやっていきたいと聞いているので、みなさまの思いも伝えていただいて、区と事業者と当事者のよい関係性を作っていきたい。

団体:

区内にどこかモデルになる施設はあるのか。

区:

区内にはない。区外で同じ規模でやっているところが練馬区と豊島区にある。

物価高騰、資材が入らない、働き方改革で時間がかかる不安があるが、十分考えていかなければならないと認識している。

団体:

前はユニット数が多かったと思うが、それが減らされてしまっているということは、リビングとか面積を工夫していただいてできるところをしっかりとやっていただきたい。

区:

当初3ユニットに設定していたが、2ユニットに変更している。

団体:

1人でも多く入れるように、今後高齢化していくのだから、グループホームの需要は増える。

団体:

ソーラーパネルは設置が必須になっているが、グループホームはちがうのか。

区: 補助があるのか含めて確認する。

※東京都議会で2025年4月より大手ハウスメーカーに対して新築住宅等の太陽光パネルの設置を義務化することが決定した。新しい制度について詳細な内容が決定しだい、このグループホームが対象となるのかを含めて確認しつつ、非常時の電源確保について検討していく。

団体:

建物を建てるのは入札か。区内業者か。ミサワホームや積水ハウスなど障害者用のグループホームのノウハウをもっているが、そういうところにも声をかけるのか。それとも、中野区の建築業者になるのか。

区:

区ではなく事業者が入札をする。区内に限定しているか確認する。

団体:

こういう会を設けていただいて感謝する。

区:

情報共有の場としてよい機会であった。今後もどのようにしていくか、ご提案いただいて、一緒に考えていきたい。

団体:

入所希望者は12名だけではないので、次のグループホームもぜひお願いしたい。